

以下の文章は、齋藤純一『不平等を考える——政治理論入門』（ちくま新書、2017年）から抜粋し、出題用に編集を加えたものである。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の関係により公開いたしません。

問 1 この文章によれば、下線部にある「市民間の平等な関係」は、なぜ必要で、またどのような場合に成り立つと考えられるか、200字以上300字以内で説明しなさい。

問 2 この文章を踏まえ、不当な有利・不利にあたるとあなたが考える現代社会における不平等の具体例を一つ取り上げながら、その不平等の是正が「運の平等主義」の考え方に基づいてどのように正当化できるか、またその正当化はどのような難点を伴うかについて、論じなさい。取り上げる具体例は、筆者が挙げている事例に限定するものではありません。字数は600字以上800字以内とします。